

社長の経営哲学の構築にお役立ちする

税理士法人 優和

経営者への活きた言葉

TEL 0 3 - 3 4 5 5 - 6 6 6 6

FAX 0 3 - 3 4 5 5 - 7 7 7 7

経営者への活きた言葉

企業の強さの源泉はその企業が持つ文化

高橋 秀仁(レゾナック「旧昭和電工と旧日立化成」HD 社長)

1. 昨年、私は国内の事業所など 70 カ所を回って 61 回、タウンホールミーティングを開き、毎回 10～20 人の従業員が参加するラウンドテーブルを 110 回やりました。これだけで計 150 日くらいかかったけど、絶対に必要だと考えたからです。事業ポートフォリオは作り替えたから終わりというわけではありません。この会社は何をやるどころかというパーパス(目標)と、社員の皆さんには何をバリュー(価値観)にしてもらいたいかを理解・実践してもらうことこそが大事だと思っています。
2. 「売られた会社」と「買った会社」を分けて考えても仕方ありません。企業の強さの源泉は、その企業が持つ文化です。片方の企業のものを生かすのではなく、統合する時には新しいものをつくる方が力になるはず。当社は「化学の力で社会を変える」がパーパスで、重要な価値観は「プロとしての成果へのこだわり」「機敏さと柔軟性」「枠を超えるオープンマインド」「先見性と高い倫理観」としています。
3. 半導体関連で言えば、旧昭和電工は川上側の素材に強く、旧日立化成は素材を使って研磨剤などの製品を作る川下側が得意でした。事業ポートフォリオは、すぐに陳腐化するいわばコモディティーです。でもそれを変えられないのは、新しいものを創造する力と実行力がないからです。経営者が覚悟を持って実行するためにも企業文化は大事です。

(参考:「日経ビジネス」2023 年 11 月 6 日号)

経営者のための経済学

来年、円は 4 年連続で弱い通貨に

佐々木融(JP モルガン・チエース銀行市場調査本部長)

1. 一昨年、円は主要通貨の中で最弱通貨だった。昨年はスウェーデンクローナのほうが若干弱かったが、主要通貨の中で 2 番目に弱い通貨だった。今年は今のところ最弱通貨となっており、円は 3 連続で最弱通貨の 1 つとなる可能性が高まっている。過去 30 年間、円は主要通貨の中で 3 年連続最弱通貨だったことはない。
2. 円は来年も弱い通貨となるだろう。来年、日銀は YCC を解除し、マイナス金利を脱出するだろう。が、その程度の動きで、円相場のトレンドが上昇に転じるようなことはないだろう。円のファンダメンタルズの弱さは根が深い。実質的に史上最安値(1970 年以降の最低水準を下回った)を更新し続ける円は、政策が現状から大きく転換されなければ、どこまで円安が続くのかメドが立たなくなっている。

(参考:「週刊東洋経済」2023 年 11 月 11 日号)

新規成長分野

シリコンアイランド(九州)の復活

1. 1980 年代、半導体関連産業の集積が進み、「シリコンアイランド」と呼ばれた九州。九州経済をけん引するのは、1200 社を超える自動車関連産業と、約 1000 社の半導体産業だ。だが、2000 年代に入ると海外に移す動きが加速し、シリコンアイランドは衰退に向かったが、近年、再び、成長軌道に乗っている。TSMC 誘致効果により、九州エリアでは関連産業の投資拡大、賃金の上昇傾向などが要因だ。
2. 恩恵を受けるのは熊本だけではない。九州エリアの半導体関連産業は長崎、福岡、大分などの各県にも分布しており、その範囲も川上の素材装置、川中の製造設計、川下のデジタル産業まで幅広い。九州経済は「沸騰する経済」から「沸騰し続ける経済」に確実に変わる。

(参考:「週刊ダイヤモンド」2023 年 11 月 11 日号)

古典に学ぶ

どんなものにも「仏」を見る感性を

1. あらゆるところに「仏」を見るための感性は、「紙一枚の中に雲を見る」とたとえてもいいでしょう。紙の原料はパルプであり、パルプは木からつくられます。
2. その木を育てたのは太陽であり、雨の恵み。そして、その雨をもたらした雲です。雲が紙になるまでには、無数の縁が存在します。その縁に思いを馳せる感性が「仏」を見る目を育むのです。

(参考:名取芳彦監修「空海 道を照らす言葉」:河出書房新社)